

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	炭素収支と資源ストック利活用技術小委員会	主 査 名：田村雅紀 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境本委員会	委員長名：外岡 豊
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	1) 平常・災害時を区別した上で、炭素収支の視点を盛り込んだ各種建材の LC 全体における資源ストックとして見た場合のマテリアルバランスを評価する 2) 炭素固定継続時間を評価した地球温暖化防止効果に対する基本的な指標・考え方を提案する。 3) 平常・災害時を踏まえ、地球温暖化防止を中心とした環境改善効果を導くための資源利用のあり方に関する考え方を整理する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし 主査：田村雅紀 (工学院大学) 幹事；古賀純子 (国総研) 幹事；恒次祐子 (森林総合研) 漆崎昇 (大林組) 石川嘉崇 (電源開発) 竹尾健一 (大成建設) 外崎真理雄 (森林総合研) 中島史郎 (建築研究所) 中島裕輔 (工学院大学) 野口貴文 (東京大学) 藤田正則 (山口大学) 山畑信博 (東北芸術工科大学) 吉川繁 (エックス都市研究所) 吉田倬郎 (工学院大学) 越中谷光太郎 (日本建築仕上材工業会)	
設置 WG (WG 名：目的)	HWP (伐採木材製品) 国内の木造建築物に使用する伐採木材製品による炭素固定について、IPCC における HWP (伐採木材製品) の評価、既存・新築建築における HWP による炭素固定の評価・時間的推移について調査し、報告する。	
2013 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/q-000/q030-12.html

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1) 平常・災害時を区別した、各種建材の資源利用特性の評価を開始 2) 災害時における地球温暖化防止効果に資する具体的な建材を調査 3) 長期的な建材の維持保全に関わるレジリエンス対策の考え方を整理
委員会活動の問題点 ・課題	2014 年度日本建築学会大会 (神戸) パネルディスカッション「災害時のレジリエンス対応技術と資源ストック利活用の接点」において、分野横断型の対策を実施するにあたり手続き方法を検討する必要がある